



団地の空き室を みんなが集う食堂に

～健康メニューと楽しい食事の場で健康寿命を延伸～

受賞者

大阪府住宅供給公社(大阪府大阪市)／

NPO法人チュラキューブ(大阪府大阪市)／NPO法人SEIN(大阪府堺市)

取組アクション

適度な運動



適切な食生活



禁煙



健診・検診



その他



高齢者の孤食・暮らしの孤立化防止に空き家を有効利用

背景・概要

公社の賃貸住宅では入居者の高齢化に伴うさまざまな課題が顕在化。高齢者等の孤食・暮らしの孤立化を防ぎ、いつまでも安心・快適に住み続けられるまちづくりを進めていくために、居住者の健康寿命の延伸に寄与する施設・機能の導入を検討した。併せて、団地内で近年増加している空き家の有効活用を考える必要があった。

これらの課題を解決するために、空き家の一室を食堂や総菜屋として開設。適切な食生活の支援と、コミュニケーションの場の提供(社会との多様なつながり)により、健康寿命の延伸につなげることにした。

取組内容

●地域の居場所として

「杉本町みんな食堂」と「やまわけキッチン」を開設

平成30年8月に「杉本町みんな食堂」をオープン。公社の賃貸住宅であるOPH杉本町(大阪市住吉区)の空き室を食堂として活用できるよう改修し、**利便施設へ用途変更**。事業者(NPO法人チュラキューブ)は、就労継続支援B型事業所として、調理・配膳等の作業を通じて障がい者への就労支援を行うとともに、食堂(一食350円で食事を提供)の運営を行う。

平成30年11月には「やまわけキッチン」をオープン。公社の賃貸住宅である茶山台団地(堺市南区)の空き室を利便施設へ用途変更。事業者(NPO法人SEIN)は、室内を食堂として活用できるよう住民参加型のDIYで改修し、定食など(510円～)の提供や総菜販売(一品100円～)を行う総菜カフェを運営している。



←お昼ときには家族連れや高齢者など、たくさんの客でにぎわう



↑定食の献立は週替わり。野菜中心の健康的なメニュー

成果

●「杉本町みんな食堂」

令和元年7月末まで、のべ779名(6～9名/日)へのバランスのとれた食事の提供と、住民・地域の方とのつながり(コミュニケーション)の構築が実現できた。

●「やまわけキッチン」

令和元年7月末まで、のべ2,227名(平均15名/日)が利用した。住民・地域の方が気軽に集い、会話しながら楽しく食事ができる場を提供することは、社会との多様なつながりを持つきっかけとなり、**地域との交流・社会参加が増えることで、認知症発症リスクの低下**につながる。